

はじめに

ネイティブっぽく韓国語を話したい全ての人へ

「韓国語は発音が難しい!」

韓国語教育の仕事をしていると、決まって耳にするのが学習者のこのような悩みです。よく「韓国語は日本語に最も近い外国語」などと言われます。確かに語彙や文法、表現に注目すれば、韓国語ほど日本語ネイティブにとって学びやすい外国語もないでしょう。もちろん似ているからこそ陥りやすい落とし穴も少なくないのですが、それにさえ気を付けて勉強すれば、驚くほど短期間にかなりのレベルの語彙、文法、表現の力を身に付けることができます。しかし、どんなにレベルアップしても学習者を悩ませ続けるのが、ずばり韓国語の「発音」です。外国語学習において発音ほど個人差が顕著に出るものもありません。何十年学んでもいかに「日本人っぽい」発音から抜け出せない人もいれば、数カ月しか学んでいないのにネイティブ顔負けの自然な発音を身に付けてしまう人もいます。このような差はよく「あの人はセンスがいい」とか「生まれつき耳がいい」などのように、個人の努力ではどうしようもない問題のように語られるのが常でした。

本当にそうなのでしょうか？

私は決してそんなことはないと思います。もちろん生まれつき言語センスが良く、すんなりと自然な発音を身に付ける人がいるのは事実ですが、そうではない大部分の人も「幾つかのコツ」を知り「幾つかのポイント」を押さえることで、発音の力を飛躍的に伸ばすことは可能であると信じています。

そのような信念を持って、私は2014年度の夏から2017年度

⑤와 워 와 워 와

⑥웨 위 왜 위 외

⑦와 위 웨 워 와



発音してみよう 5 TR08

二重母音で始まる単語を練習してみましょう。

①와인 와요 와

②워낙 워드 워터

③왜요? 웨딩 외국인

④위약 위반 위인

〈日本語訳〉①ワイン、来ます、わあ ②いかんせん、ワード、ウォーター ③どうしてですか?、ウエディング、外国人 ④胃薬、違反、偉人

さて、韓国語の二重母音の中には日本人にとって少しハードルが高いものが一つあります。それがこれです。

ㄴ : ㄴから | に移る音

これをㄴや | と混同してしまう人が多いのですが、ここでもやはりㄴから | に移るということをしっかり意識しなくてははいけません。特にㄴできれいにスタートを切るのがポイントとなってきます。

第4課

パッチム

1 パッチムの仕組み

日本人韓国語学習者に「韓国語の発音の中で何が難しいですか?」と質問すると、「パッチムが難しい!」という声が非常に多く上がります。この理由は日本語の音声的特徴にあります。母音を中心とした音の固まりのことを音節と言いますが、音節には次の4種類があります。

- ①母音
- ②母音+子音
- ③子音+母音
- ④子音+母音+子音

このうち日本語で使われている音節は基本的に①と③、つまり母音で終わるものだけです(「ん」と「っ」は例外)。しかし、韓国語はこの4種類全てが使われており、②や④は日本語で普段使われることのない種類の音であるため、日本人にとっては「慣れない発音」と言えます。そして、この②や④がまさにパッチムのある発音ということになります。

先ほど子音は「音のストップ」(P.037)、母音は「音のリリース」(P.014)であると述べました。これを基にパッチムを考えるとどうなるでしょうか。例えば**각**という音節は、子音ㄱ→母音ㅏ→子音ㄱという順番になっています。ㄱを「口の奥でストップ」、ㅏを「広くリリース」だとした場合、**각**は「口の奥でストップして、広くリリースして、また口の奥でストップ」した音だということになります。同様に**ㅁ**の場合は、ㅁを「唇でストップ」、ㅣを「狭くリリース」とした場合、「唇でストップして、狭くリリースして、また唇でストップ」というわけです。

9 二重パッチム

二重パッチムに苦手意識、持ってませんか？ **넓다**とか**기슭**とか見るたびに「うわあああ」と悲鳴を上げたくなくなってませんか？ 私もハングルを覚えた頃の頃、耳でなんとなく聞き覚えていた**괜찮아요**や**없어요**などのつづりを見て「何でわざわざこんなややこしい書き方をするんだ!？」と戦慄したことがあります。特に発音するとなると、どっちをどう読んでいいものか口がすくんでしまうという学習者も少なくないようです。でも、みんなから敬遠されがちな二重パッチムも、きちんと知れば決して怖くないのです。

まず、世の中にはどれだけの二重パッチムがあるのかを確かめましょう。二重パッチムとして存在するのは「ㄱㅅ」「ㄴㅈ」「ㄴㅎ」「ㄹㄱ」「ㄹㅇ」「ㄹㅂ」「ㄹㅅ」「ㄹㅌ」「ㄹㅍ」「ㄹㅎ」「ㅁㅅ」の11種です。うわあ大変だと思いかもしれませんが、まず二重パッチムを構成している二つの子音のうち、「カナダラ順」で考えたときに先に来る方はどちらかチェックしてみましょう。「カナダラ順」というのは、「いろは」のようにハングルの子音を並べる時の順番です。韓国語を学習する際には必ず必要な知識なので、知らなかった人はついでに覚えてください。ㄱ、ㄴ、ㄷ、ㄹ、ㅇ、ㅁ、ㅂ、ㅅ、ㅇ、ㅈ、ㅊ、ㅌ、ㅍ、ㅎがその並び順です。

さて、そうしてみると「ㄱㅅ」「ㄴㅈ」「ㄴㅎ」「ㄹㄱ」「ㄹㅇ」「ㄹㅂ」「ㄹㅅ」「ㄹㅌ」「ㄹㅍ」「ㄹㅎ」「ㅁㅅ」という結果になります。基本的に、下線が引いてある子音、つまり「カナダラ順で先に来る方」を読むというのが第一原則となります。

しかし、この中で例外が二つだけあります。それは「ㄹㅇ」「ㄹㅌ」の二つ。これらは上で下線を引いたㄹではなく、「ㄹㅇ」「ㄹㅌ」の方を読みます。しかし「ㄹㅌ」パッチムを使うのは**울다**（吟じる）という超超超レア動詞だけなのであまり気にしなくてもいいでしょう。つまり、例外として気を付けるべきなのは「ㄹㅇ」だけということになります。では、それぞれのパッチムを持つ単語が実際どのように発音されるのか、次の表をみながら発音してみよう。

		例	-다	~이, -이	~을, -을	-는
ㄱㅅ	名詞	몫 (役目)		몫이 [몫씨]	몫을 [몫쓸]	
ㄴㅈ	用言	앉다 (座る)	앉다 [안따]		앉을 [안줄]	앉는 [안는]
ㄴㅎ	用言	안다 (~ない)	안다 [안타]		안을 [아늘]	안는 [안는]
ㄹㄱ	名詞	닭 (鶏)		닭이 [다기]	닭을 [다글]	
	用言	읽다 (読む)	읽다 [익따]		읽을 [일글]	읽는 [잉는]
ㄹㅇ	名詞	삶 (人生)		삶이 [살미]	삶을 [살믈]	
	用言	닮다 (似る)	닮다 [담따]		닮을 [달믈]	닮는 [담는]
ㄹㅂ	名詞	여덟 (8)		여덟이 [여더리]	여덟을 [여더를]	
	用言	넓다 (広い)	넓다 [널따]	넓이 [널비]	넓을 [널블]	
ㄹㅅ	名詞	외곶 (一筋の道)		외곶이 [외곶씨]	외곶을 [외곶쓸]	
ㄹㅌ	用言	할다 (なめる)	할다 [할따]		할을 [할틀]	할는 [할튼]
ㄹㅍ	用言	 읊다 (吟ずる)	 읊다 [읍따]		 읊을 [읍플]	 읊는 [음는]
ㄹㅎ	用言	잃다 (失う)	잃다 [일타]		잃을 [이를]	잃는 [일튼]
ㅂㅅ	名詞	값 (価値)		값이 [갑씨]	값을 [갑쓸]	
	用言	없다 (ない)	없다 [업따]	없이 [업씨]	없을 [업쓸]	없는 [엄는]

5 激音化

このようにちょっと控えめで気弱な印象のㄱですが、なかなかどうして心の中には激しい情熱を秘めています。それだけではなく、ㄱは「ある条件」が整うとその情熱を他の子音にも分け与えて激しくパワーアップさせてくれるハンブル界のインフルエンサー的な面も持っているのです。う〜んㄱ、いい奴です。さて、その「ある条件」というのは次の二つです。

- ① ㄱが直接他の子音と隣り合う
- ② 隣り合った子音が「鼻じゃない課」の平音である
(ただしㄴを除く)

ㄱが直接他の子音と隣り合うという①の条件には二つのパターンがあります。まずㄱの前にパッチムがあるパターン、そしてㄱがパッチムのパターンです。

②の条件に当てはまる子音は「くちびる部」ではㅁ、「まえ部」ではㄷ、ㅌ、ㅊ、「うしろ部」ではㄱの合計五つ。これはㄱ弱化のときのイラストでチェックがされていなかった残りの子音たちということになります。

上の二つの条件が整ったとき、ㄱは自らの激しさの元を、隣り合った子音に手渡してしまいます。その結果、力を与えられた子音は「激音」にパワーアップするのですが、ㄱは跡形もなく消滅してしまいます。自らの命をていして他の子音をパワーアップさせるㄱの自己犠牲精神。まさに聞くも涙、語るも涙の発音変化です。この現象は「激音化」と呼ばれています。

コラム 7

外来語は伸ばさずに発音せよ！

日本語は音の長短が意味を区別する上で非常に大きな役割を果たしています。そのため日本語ネイティブは音の長短に非常に敏感で、外来語の表記でも長音記号 (ー) を使って長短を区別します。その習慣から、「チーズバーガー」と韓国語で言うときにもついつい「**치-즈버-거-**」と音を伸ばして発音してしまいがちなのですが、「ネイティブっぽさ」を目指すのであれば長音はバツサリと切り捨てて「チズバガ」のつもりで**치즈버거**と発音しましょう。同様に「モーターボート」は「モタボト」のつもりで**모터보트**です。日本語ネイティブの感覚としてはなんとも締まらない語感に思えて、なかなか心理的な抵抗があると思いますが、ここを乗り越えればぐんと「ネイティブっぽさ」がアップします。ただし「エー」に関しては**에이**となり、長音っぽくなります。例：**케이크** (ケーキ)、**데이트** (デート)

るような努力をしなくてはいけないということになります。ですから、もし皆さんの周りに日本語のアクセントがきれいな韓国語ネイティブがいれば、その人はとてもすごい努力をしてきたか、天性の音声的感覚の持ち主だということ覚えておいてください！

	日本語	英語	韓国語
音の高低でアクセントが決まる	○	×	○
音の強弱でアクセントが決まる	×	○	×
アクセントで単語の意味を区別する	○	○	×
常に一定のアクセントパターンを取る	×	×	○

ただし、ここまで述べてきた韓国語のアクセントパターンはあくまでも「ソウル言葉」を基準としたものです。韓国語の方言の中には、日本語と同じようにアクセントで意味を区別するものもあります。その代表例が、釜山を中心とする慶尚道方言です。

韓国語では数字の「2」とアルファベットの「e」がどちらも「이」となり区別がありませんが、慶尚道方言ではこの二つをアクセントで区別できます。以下の2とeを使用した4種類の例を見てみましょう。音の高さを表す波線は、慶尚道方言のうち釜山のものを示しています。

- ① 2^2 **이의 이승** (2の2乗)
- ② 2^e **이의 이승** (2のe乗)
- ③ e^2 **이의 이승** (eの2乗)
- ④ e^e **이의 이승** (eのe乗)

目まで続くというスタイルです。実は、原則1には次のような「ただし」書きが付くのです。

① **LHLHLHLH…の繰り返し**
(ただし、語頭が強い子音の場合はHで始まる)

「強い子音」という聞き慣れない言葉が出てきましたが、韓国語アクセントを教える際に私が便宜的に使っている用語です。以下が「弱い子音」と「強い子音」の分類です。

弱い子音	強い子音
ㄱ ㄴ ㄷ ㄹ ㅁ ㅂ ㅇ ㅈ	1. 人 2. ㅊ ㅋ ㅌ ㅍ ㅎ 3. ㄱ ㄷ ㅂ ㅅ ㅈ

부산市の場合、最初の子音は**ㅂ**ですので弱い子音、それに対し**서울**市の場合、最初の子音は**ㄷ**ですので強い子音ということになります。同様に、**일본**語の場合は**ㅇ** = 「弱い子音」、**한국**語の場合は**ㅎ** = 「強い子音」ということになります。そのためアクセントのパターンに次のような差が生まれます。



聴いてみよう 14 (TR58)

弱い	強い	弱い	強い
부산 市	서울 市	일본 어	한국 어

6 日本人バレするアクセント

日本語ネイティブの韓国語を聴いていると、**저는** (私は) の**저**の部分、**명동에서** (明洞で) の**명**の部分を高く発音している人がとても多いことに気がきます。これは日本語ネイティブの外来語アクセントの癖がそのまま出たもので、一瞬で「日本人っぽい!」と思われる原因になります。ではまず、日本式の外来語アクセントパターンとはどのようなものなのか、見てみましょう。



考えてみよう 4

次の外来語はどのようなアクセントで発音されますか？ そしてそこにはどのようなルールがあるでしょうか？

- ① バナナ
- ② ホテル
- ③ オレンジ
- ④ アパート
- ⑤ キャンパス
- ⑥ スーパー
- ⑦ ドア

上の七つはそれぞれ、「バナナ」「ホテル」「オレンジ」「アパート」「キャンパス」「スーパー」「ドア」の赤字になっている部分の直後にアクセントの滝（音が落ちるところ）があります。つまり、赤字になっている部分が高いということです。これらをよーく観察していくと、次の三つの傾向が浮かび上がってきます。

8 文章単位のアクセント

ここまでは、主に単語レベル・文節レベルのアクセントについて述べてきました。ここからはもう少し範囲を広げて、文章の中でこれらのアクセントがどのような振る舞いをするのかを見ていきたいと思います。

韓国語には、文節ごとに音が少しずつ下がっていくという特徴があります。내일 명동에서 쇼핑해요. (明日明洞でショッピングします。) という文を例に見てみましょう。まず、①내일 ②명동에서 ③쇼핑해요のように文節ごとに番号を振ります。そして、それぞれの文節のうちLの音に該当するものを基準点とします。①내일 ②명동에서 ③쇼핑해요のように、下線を引いた部分が基準です。文章をつなげて発音した時、①の基準点より②の基準点は低く、②の基準点より③の基準点は低く発音されます。



聴いてみよう 18 TR69

내일 명동에서 쇼핑해요.

저는 일본에서 온 야마다라고 합니다.

저는 학교에서 한국어를 공부하고 있어요.

「ほんと?」 「Really?」 など、尋ねる時に最後の音が上がり気味になるのは日本語や英語など多くの言語で見られる現象です。韓国語も例外ではありません。疑問イントネーションでは最後の音節が「H」になって高く発音されます。同じ**해요?** (しますか?) でも、緩やかに上げると優しく尋ねる感じに、素早く急激に上げるとびっくりしたような感じになるなど、さまざまな細かいバリエーションが存在しますが、まずは最後の音を上げる感覚に慣れる練習をしてください。特に、強い子音のもので3音節以下のものは**사?** (H↑)、**서울?** (HH↑)、**했어요?** (HHH↑) となり、もともとHよりさらに高く上げなくてはいけないので結構大変です。

また、**부산대학교?** (釜山大学?) のように奇数音節の名詞の場合、「LHLHH↑」ではなく、「LHLLH↑」となります。**直前の音の高さを抑制することで、語末の音の跳ね上がり効果を高めるため**です。



聴いてみよう 26 TR80

① 부산대학교

4音節目に小さく二つ目のピークがあります。

② 부산대학교?

最後の音節の跳ね上がりを強調するため、その前の音は低く抑えます。



発音してみよう 55 TR81

① A : 이건 돈이에요. (これはお金です。)

B : 돈? (お金?)

② A : 이건 콜라예요. (これはコーラです。)

B : 콜라? (コーラ?)

抑えられます。最後の音節を高く長く発音すれば発音するほど憎たらしい感じを出すことができますが、あまり度が過ぎると反感を買う恐れがあるのでくれぐれも気を付けましょう。

その他にも**나 간다?**(私行くよ?)、**진짜로 간다?**(本当に行くからね?)のように自分が何かのアクションを起こそうとしていることを**相手に確認するときのイントネーション**としてもよく使われます。

-거든、-을걸のイントネーション

語尾-거든は、**イントネーションによって全く異なる意味を持ちます。**

まず下がり調子の平常イントネーションで**받았거든**と言った場合は、相手が知らないと思われる事情を説明してあげるニュアンスになります。それに対して**들었거든?**のように疑問イントネーションの形になると、相手が勘違いしていることを(時にややいら立ちを感じつつ)指摘するようなニュアンスになります。この違いは~요が付いて丁寧語になっても同じです。なお、~요が付いた時の発音は、ㄴ挿入が起こるので**[거든뇨]**となります(P.103)。

-을걸もイントネーションによって異なる意味を持つ語尾です。

まず、平常イントネーションで**일어날걸**と言った場合、「~すればよかった」という後悔の念を表します。一方で疑問イントネーションで**내일일걸?**と言うと「~のはずだけど?」という自分の意見を再確認するようなニュアンスになります。**-거든**と同じく~요が付いて丁寧語になるとㄴ挿入が起き、さらに流音化も起きるので、発音は**[을걸료]**となりますが、平常イントネーションの**-을걸**は独り言なので丁寧語にはならず、疑問イントネーションで「~のはずですけど?」と言うときにしか~요は付きません。

それでは、それぞれどのようなイントネーションで発音されるのかを、**나 오빠한테 고백 받았거든.**(私、オッパから告白されたの。)と**어제도 들었거든?**(昨日も聞いたんだけど?)、**일찍 일어날걸.**(早く起きればよかった。)と**시험이 내일일걸?**(テストは明日のはずだよ?)を例に見てみましょう。

2 文章レベルのリズム

では次に、文章全体としてのリズムはどのようなものかを見てみましょう。先ほど単語・文節レベルのリズムの説明では、「**全てのハングルが同じリズムを刻む**」と言いました。文章レベルの場合はそれが基本的にそのまま拡張されて「**小さな意味の一固まりごとに同じリズムを刻む**」ということが言えます。

例えば**저는 한국 음식을 아주 좋아합니다.** (私は韓国料理が好きです。) の場合、**저는** (私は)、**한국 음식** (韓国料理が)、**아주** (とても)、**좋아합니다** (好きです) の四つの固まりに分けることができます。それぞれ2拍(♪♪)、5拍(♪♪♪♪♪)、2拍(♪♪)、5拍(♪♪♪♪♪)です。この四つがそれぞれ同じ長さで発音されるということです。左右にチクタク振れながらリズムを刻むメトロノームを考えてみてください。メトロノームが「チク」「タク」いうのと同じリズムで「저는」「한국 음식을」「아주」「좋아합니다」が発音されるイメージです。

저는 일주일에 두 번 수요일과 금요일에 한국어를 공부하고 있습니다. (私は1週間に2回水曜日と金曜日に韓国語を勉強しています。) という文を例に取って、どのようなリズムを刻むのか左ページのイラストで確認してください。

慣れるまではとても難しく感じるかもしれませんが、最初はメトロノームを超スローにして、とにかく同じリズムを刻む感覚を十分に練習してください。スピードよりリズムを重視してください。だんだんと慣れてきたら、少しずつメトロノームを早くしていきます。こうして4ビートから8ビート、8ビートから16ビートとレベルアップすればいいです。散歩するときなど**一歩一歩**きながら練習するのもおすすめです。

このリズムを意識して話すことで韓国語に安定感が生まれ、**非常に心地良く聞き取りやすい印象**をネイティブに与えることができます。



発音してみよう 62 (TR99)

最初はゆっくり、だんだん早く発音してみましょう。

①안녕하세요? 저는 야마다라고 합니다.

(こんにちは、私は山田といいます。)

②가장 좋아하는 한국 음식은 부대찌개와 닭갈비입니다.

(一番好きな韓国料理はプデチゲとタッカルビです。)

③이 책으로 연습하니깐 한국어 발음이 아주 많이 늘었어요.

(この本で練習して韓国語の発音がとても上達しました。)